

2023 年度の事業報告書

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人かえる舎

1 事業の成果

以下の事業を実施した。

- ・山梨県富士吉田市内高校と富士吉田市と連携協定に基づき、法人の目的を果たすべく産官学の連携による事業を実施し、生徒達の郷土愛醸成を実現できた。
- ・富士吉田市内高校にて「地域教育」が定着してきた。中学校での授業運営も実施された。より若い世代から地域の魅力を感じてもらうことができた。
- ・富士吉田市において地域活動に参加する高校生が 39 名生まれた。
- ・新聞、テレビなどのメディアに 26 回取り上げられ、次世代の活動を広く知ってもらうことができた。
- ・富士吉田市の中学生 9 名の有志地域活動も実施した。
- ・富士吉田市高校生活動拠点の指定管理を受け、高校生たちが安心して地域活動を推進できる環境整備を行なった。
- ・富士吉田市において実施した報告会には地域住民 86 名が集まった。また、生徒たちの活動報告の展示会も実施した。
- ・富士吉田市において都市部の大学や、近隣の大学との連携による地域の課題解決を目的とする事業を実施した。
- ・卒業論文、修士論文のテーマとして 5 名の学生から取り上げられた。
- ・栃木県鹿沼市においても、高校生の地域活動機会の創出、大学生の地域への定着を促す事業を実現できた。
- ・若者の地元離れが顕著な中、地域に興味を持ってもらう機会を作ることができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
①子ども、若者の居場所づくり事業	高校生活動拠点「センゲンボウ」指定管理事業 地域の若者たちの活動拠点の管理運営を受け、管理運営を行った。生徒たちが安心安全に地域への興味関心を持ち、活動できるよう施設管理に努めた。また市民への説明や、活用	(A) 23 年 4 月 1 日から 24 年 3 月 31 日まで (B) センゲンボウ 山梨県富士吉田市上吉 田 4 丁目 1 - 2 2 (C) 2 名	(D) 富士吉田 市内高校 生 (E) 延べ 1140 人程	5,800 千円

	促進につながる広報物の制作なども実施した。			
②地域活動への参画推進事業	実施しなかった	(A) 0 (B) 0 (C) 0	(D) 0 (E) 0	0 千円
③子供、若者の学習支援事業	吉田高校 総合的な探究の時間 学習支援 山梨県立吉田高校にて、総合的な探究の時間の学習支援に取り組んだ。教員が地域学習を生徒に円滑に提供できるような教材、ワークシートの作成や、打ち合わせ資料の作成などを行った。教員の負担軽減につながる働きを実現した。	(A) 23年4月1日から24年3月31日まで (B) 吉田高校 (C) 1名	(D) 吉田高校 教員 (E) 20名	233 千円
③子供、若者の学習支援事業	山梨県富士吉田市 大学生魅力発信 就職インターンシップ事業 山梨県富士吉田市で、若者に地域定着を促す目的の事業を行なった。大学生が記者となりInstagramで地域魅力を発信する取り組みを実施した。市内出身大学生が市内事業者へ取材活動を実施し、地域での働き方や暮らし方の魅力を発掘し、まとめてInstagram上で発信した。地域へのUターンの気概を醸成することにつながった。	(A) 23年4月1日から24年3月31日まで (B) 富士吉田市内事業所、富士吉田商工会議所 (C) 3名	(D) 富士吉田市出身大学生 (E) 21名	935 千円
④キャリア教育事業	実施しなかった。	(A) 0 (B) 0 (C) 0	(D) 0 (E) 0	0
⑤まちづくりに関する事業	地域の働き方の選択肢を伝える冊子記事製作 富士五湖地域にて発行	(A) 23年6月1日から23年8月1日まで (B) 富士山5合目小御岳売店、富士山世界遺	(D) 富士五湖地域在住者 (E) 実施学生 2名	22 千円

	<p>される働き方を伝えるフリーペーパー「シルベ！」内の記事制作を実施した。富士山世界遺産 10周年を記念し、富士山に関する仕事をされている方々に生徒が取材を実施し、発信に努めた。生徒の地域理解を深めるとともに、地域の魅力発信に貢献した。</p>	<p>産センター (C)1名</p>		
⑤まちづくりに関する事業	<p>富士吉田市織物協働組合 織物を若者が感じる feel プロジェクト</p> <p>富士吉田織物協同組合と共に、地場産業を若者に伝える取り組みを実施した。富士吉田市「子育て支援センター」で使用してもらい、富士吉田の織物でできたニューボーンフォト撮影用ドレスを作成した。新生児から富士吉田の織物に触れた思い出を残してもらい、できるようになった。</p>	<p>A)22年4月1日から23年3月31日まで</p> <p>(B)富士吉田市織物協同組合、富士吉田市立下吉田東小学校、富士急バス</p> <p>(C)3名</p>	<p>(D)富士吉田市子育て支援センター</p> <p>(E)年間200名程想定</p>	1,000千円
⑤まちづくりに関する事業	<p>富士吉田市 地域おこし協力隊 研修事業</p> <p>富士吉田市地域おこし協力隊が事業を実現する上で必要な研修を実施。地域のフィールドワークや、事業へのアドバイス、支援などを実施した。</p>	<p>A)23年4月1日から24年3月31日まで</p> <p>(B)富士吉田市</p> <p>(C)1名</p>	<p>(D)富士吉田市 地域おこし協力隊</p> <p>(E)1名</p>	60千円
⑥若者の起業支援事業	<p>実施しなかった。</p>	<p>(A) 0 (B) 0 (C) 0</p>	<p>(D) 0 (E) 0</p>	0
⑦地域課題の解決に関する事業	<p>慶應義塾大学連携事業</p> <p>都市部の大学と連携し富士吉田市に興味を持ってもらうきっかけづくりを実施した。地域課題解決に向けて、フィールドワークと提言</p>	<p>(A) 23年4月1日から24年3月31日まで</p> <p>(B) オンライン、富士吉田市内、慶應大学</p> <p>(C) 2名</p>	<p>(D) 慶應義塾大学生</p> <p>(E) 授業30人 特別研究3名</p>	1,760千円

	<p>の場を設定した。また、地域へ大学生が移住し、活動を起こすなどの広がりを見せた。また、関係人口創出につなげていくための学生相互のネットワーク作りにも取り組んだ。</p>			
<p>⑧地域での若年層の人口増に係るコーディネート事業</p>	<p>富士吉田市郷土愛醸成を核とした若者チャレンジプロジェクト</p> <p>① 郷土愛醸成を目的とした授業実施について</p> <p>高校生が地域と向き合い郷土愛を醸成するために、地域をテーマにした授業を市内4校と連携して行った。授業時間数は延べ150時間を超え、多くの生徒に地域を考えてもらう機会を創出した。また、中学生に対しても地域キャリアを知ってもらう授業を実施した。</p> <p>② 郷土愛醸成を目的とした課外活動実施について</p> <p>課外活動として39名の高校生が地域実践に取り組んだ。名産品を紹介するリーフレット制作や、イベント参加などを実施した。また、商品開発にも取り組み、地域の魅力創造につながった。また9名の中学生も課外活動を実施し、若年層から地域に関わる人材へとつながっている。</p> <p>③ 活動報告機会の創出</p> <p>生徒の活動内容の報告展示を実施した。展示会場には500名以上の来場があった。また、活動の意義を伝えるための発表の機会、活動</p>	<p>(A) 23年4月1日から24年3月31日まで</p> <p>(B) 富士吉田市内各事業所、市内公共施設、高校、イベント会場等</p> <p>(C) 2名</p>	<p>(D) 富士吉田市内高校生</p> <p>(E)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士北稜高校1、2年生400名 ・吉田高校1、2年生500人 ・ひばりが丘高校2年22名 ・富士学苑高校1年90名 ・富士吉田市有志高校生50人 ・富士吉田市有志中学生9名 ・市内4中学校3年生880人 ・富士吉田市若手職員7名 	<p>11,807千円</p>

	成果報告イベントも実施した。			
⑧地域での若年層の人口増に係るコーディネート事業	<p>高校生と連携したふるさと納税魅力発信業務委託</p> <p>高校生が地域産品の魅力を調査、発信することで、地元への知識、関心を深め、さらに対外的に発信することで地域への参画の意識が高まる。その後、活動がきっかけで地域内就職した生徒も誕生した。</p>	<p>(A) 23年4月1日から24年3月31日まで</p> <p>(B) 富士吉田市内各事業所、富士北稜高校</p> <p>(C) 3名</p>	<p>(D) 富士北稜高校情報コース在籍生徒</p> <p>(E) 生徒 16人</p>	2,750千円
⑧地域での若年層の人口増に係るコーディネート事業	<p>栃木県 高校生定着モデル事業</p> <p>栃木県鹿沼市において高校生が地域を知り、地域に関する取り組みを行うことで、地域への愛着を育てる事業を実施した。市内高校生たちと一緒に地域の魅力発信につながるイベントを開催した。</p>	<p>(A) 23年4月1日から24年3月31日まで</p> <p>(B) 鹿沼市、市民交流施設ふらっと、文化活動交流館</p> <p>(C) 2名</p>	<p>(D) 鹿沼市在住、在学高校生</p> <p>(E) 生徒 18人</p>	337千円
⑨まちづくりや教育に関する企画提案、コンサルティング事業	<p>かえる舎スタッフによる地域教育に関する講演</p> <p>地域教育に関する講演を行なった。富士吉田市内取り組みについて大学や、教育委員会、社会教育委員などで意義を訴求した。</p>	<p>(A) 23年4月1日から24年3月31日まで</p> <p>(B) 各講演会場</p> <p>(C) 1名</p>	<p>(D) 講演会参加学生、または講演会参加者</p> <p>(E) 2,000人</p>	217千円
⑩その他目的を達成するために必要な事業	実施しなかった。	<p>(A) 0</p> <p>(B) 0</p> <p>(C) 0</p>	<p>(D) 0</p> <p>(E) 0</p>	0

第7期

決算報告書

自：令和 5年 4月 1日

至：令和 6年 3月31日

〒403-0009

山梨県富士吉田市富士見1-1-5

特定非営利活動法人かえる舎

理事長 斎藤 和真

活動計算書

令和 5年 4月 1日 から令和 6年 3月 31日 まで

特定非営利活動法人かえる舎

(単位：円)

科 目	金 額	
経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	33,000	33,000
2. 事業収益		
売上高	22,398,933	22,398,933
3. その他収益		
受取利息	108	
雑収益	249,136	249,244
経常収益計		22,681,177
経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	10,623,900	
法定福利費	1,521,864	
福利厚生費	1,655	
人件費計	12,147,419	
(2) その他経費		
業務委託費	5,466,999	
印刷製本費	740,645	
会議費	38,016	
旅費交通費	397,200	
車両費	622,577	
通信運搬費	900,503	
消耗品費	1,049,079	
水道光熱費	197,267	
賃借料	138,600	
保険料	31,000	
租税公課	21,600	
研修費	6,000	
接待交際費	398,762	
雑費	54,223	
その他経費計	10,062,471	
事業費計		22,209,890
2. 管理費		
(1) その他経費		
通信運搬費	38,050	
地代家賃	109,091	
諸会費	8,000	
管理諸費	40,000	
雑費	14,150	
その他経費計	209,291	
管理費計		209,291
経常費用計		22,419,181
当期経常増減額		261,996
経常外収益		
経常外収益計		0
経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		261,996

科 目	金 額		
法人税、住民税及び事業税			77,924
当期正味財産増減額			184,072
前期繰越正味財産額			6,636,608
次期繰越正味財産額			6,820,680

貸借対照表

令和 6年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人かえる舎
(単位：円)

科 目	金 額		
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,349,052		
未収金	8,024,050		
流動資産合計		10,373,102	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
出資金	10,000		
投資その他の資産計	10,000		
固定資産合計		10,000	
資産合計			10,383,102
負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,894,522		
未払消費税等	500,400		
未払法人税等	77,900		
預り金	89,600		
流動負債合計		3,562,422	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			3,562,422
正味財産の部			
前期繰越正味財産		6,636,608	
当期正味財産増減額		184,072	
正味財産合計			6,820,680
負債及び正味財産合計			10,383,102

財 産 目 録

令和 6年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人かえる舎
(単位：円)

科 目		金 額	
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金		40,540	
普通預金	都留信用組合本店1138918	1,437,027	
	都留信用組合本店1149454	871,485	
未収金	富士吉田市他	8,024,050	
貯蔵品		0	
流動資産合計			10,373,102
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計		0	
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計		0	
(3) 投資その他の資産			
出資金	都留信用組合	10,000	
投資その他の資産計		10,000	
固定資産合計			10,000
資産合計			10,383,102
負債の部			
1. 流動負債			
未払金		2,894,522	
未払法人税等		77,900	
未払消費税等		500,400	
預り金	源泉所得税	89,600	
流動負債合計			3,562,422
2. 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			3,562,422
正味財産			6,820,680